

# 1

event

横浜市指定史跡及び市内最古級の貝塚である野島貝塚について再度注目し、新資料とともに展示します。

展示 令和2年度「横浜の遺跡展」

## 野島貝塚

一環境変動にみる縄文時代早期の人々

会期：2021年3月5日(金)～4月27日(火)  
会場：金沢図書館エントランス

<展示物> 野島貝塚出土遺物  
(土器、動物骨、貝類)  
図面、写真など

# 3

event

平成29～30年に発掘された古代の集落遺跡である公田平台遺跡出土の遺物を中心に展示します。

展示 図書館連携展示

## わが町の遺跡

一公田平台遺跡

会期：2021年3月5日(金)～4月27日(火)  
会場：栄図書館エントランス

<展示物> 公田平台遺跡出土遺物  
(土器など)  
写真など

## 編集後記

今回のテーマは「十三塚」です。十三塚とはその名の通り13基ある塚なのですが、高度経済成長期の開発により、現在その姿を残すものはほとんどなく、あまり目にする事のない遺構の一つかもしれません。本紙を読んで、改めてそんな遺構の一つを知っていただき、横浜の魅力的な文化財に興味をもっていただけけるきっかけの一つに本誌がお役に立てることを願っております。

編集

# 2

event

実際に発掘された調査地を散策し、遺跡の環境とその歴史的な背景について解説します。

野外講座 地域歴史散策 令和2年度考古学講座

## 縄文時代の貝塚を歩く

一野島貝塚と夏島貝塚

日時：2021年3月13日(土) 13:30～16:00(予定)  
距離：約2.5km(所要時間：2.5時間)  
募集：25名  
費用：500円(資料・保険代)  
申込：詳しい募集方法等は後日、埋文HPにて掲載

3館連携の横浜市南部地域における遺跡の紹介展示(event1,3,4)をします。

3館でクイズラリーを行います。各館の問題に答えて、3つの答えをつなぎ合わせてみてね。正解者には貴重なプレゼントがあるかも。

# 4

event

弥生後期の環濠集落として著名な殿屋敷遺跡の遺物を中心に展示します。

展示 埋文センター展示

## きみの隣の弥生人!

一殿屋敷遺跡群

会期：2021年3月5日(金)～4月27日(火)  
会場：(公財)横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センターエントランス

<展示物> 殿屋敷遺跡出土遺物  
(土器など)



3層を掘り、自分なりの方法で、是非、屋敷で新しい発見をしてみてください。

## <<埋蔵文化財センターのご案内>>

JR線「港南台」駅  
2番バス乗り場より「上郷ネオポリス」行き、終点「上郷ネオポリス」下車徒歩1分  
京浜急行線「金沢八景」駅  
国道沿い1番乗り場より「上郷ネオポリス」行き、終点「上郷ネオポリス」下車徒歩1分  
または「大船」行き、「長倉町」下車徒歩7分  
JR線「大船」駅  
3番乗り場より「金沢八景駅」行き、「長倉町」下車徒歩7分

・見学等の施設利用は、平日の9～17時となっています。  
・団体の施設利用にあたっては、事前にご連絡ください。

「埋文よこはま」は横浜市域で発掘調査された遺跡や出土した遺物を紹介する広報紙です。



# 埋文よこはま

じゅうさんづか

## 一 横浜の十三塚

港北ニュータウン地区の十三塚

42



十三塚の断面。3基のみが確認できる

塚の部分を ↓ で表しています。十三塚の塚は、それほど大きな高まりではありません。



(上) 新吉田十三塚遺跡検出の十三塚(都筑区)  
(左) B5遺跡検出の十三塚(都筑区)

丘陵上に13個の塚が南北に長く並んでいる

「十三塚」とはその名の通り、同じところに13基の塚が群集している状態を示しますが、2基や3基など13基に満たない場合でも十三塚と称す場合があります。これは元は13基あり、その一部が消滅してしまった例とみられ、地名として字十三塚などと残り、かつてそこに十三塚があったことが想像されます。十三塚は全国各地にみられるもので、北は岩手県から南は鹿児島県まで、300か所以上が報告されています。しかしながら現存しているものはわずかにすぎません。

十三塚が何のために造られたのかは、いまだはっきりしません。死者供養、境界指標、修法壇など様々な意見があります。中でも、村の境界や道傍に多くみられることから、村境という塚の境界性に注目する場合と、「13」という数に注目して十三仏信仰と結びつける場合がよくみられます。十三塚には伝承も多いため、築造当時のものとも限らず、築造後、地域住民がそれぞれの価値を塚に付与することが指摘されています。

十三塚が造られた時期は中世ないしは近世とされていますが、これもはっきりしません。塚上に石塔類がある場合もみられますが、多くの場合何もなく、また発掘調査が行われても、出土遺物がないことが大半だからです。

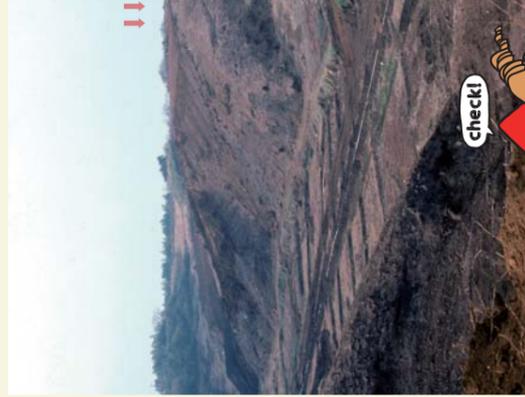
※ 修法壇…修法用の壇。修法とは除災、招福などを目的として密教で実施される行法。



# 十三塚 大解剖

状態の良好だった都筑区  
B5遺跡(カラー写真)や  
港南区坂口十三塚(モノ  
クロ写真)を手がかりに、  
十三塚とはどんなものか  
見てみよう!

**十三塚の立地**  
十三塚は尾根の丘陵上  
や道の傍などみられる  
ことが多く、横浜市内の十  
三塚も大半がそういった  
場所に築造されています。  
このため、十三塚の築造  
理由としてムラの境界線  
であったという説が古くか  
らあります。



B5遺跡遠景

尾根上に並んでいるのが確認できるとよ

## 十三塚 の配列

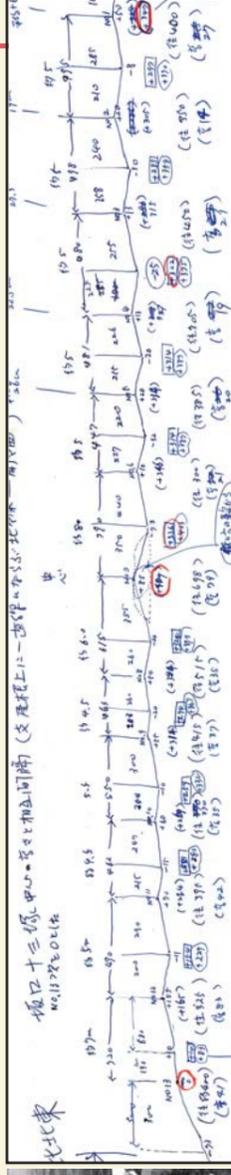


B5遺跡(列状に並ぶ)



坂口十三塚遺跡(列状に並ぶ)

一直線に並ぶことが多いですが、P3の12  
境木十三塚のように  
6基ずつが2列で並ぶ  
場合もあるようです。



坂口十三塚について赤星直忠氏が各塚の大きさにについて細かく記載したもの 赤星ノートより※

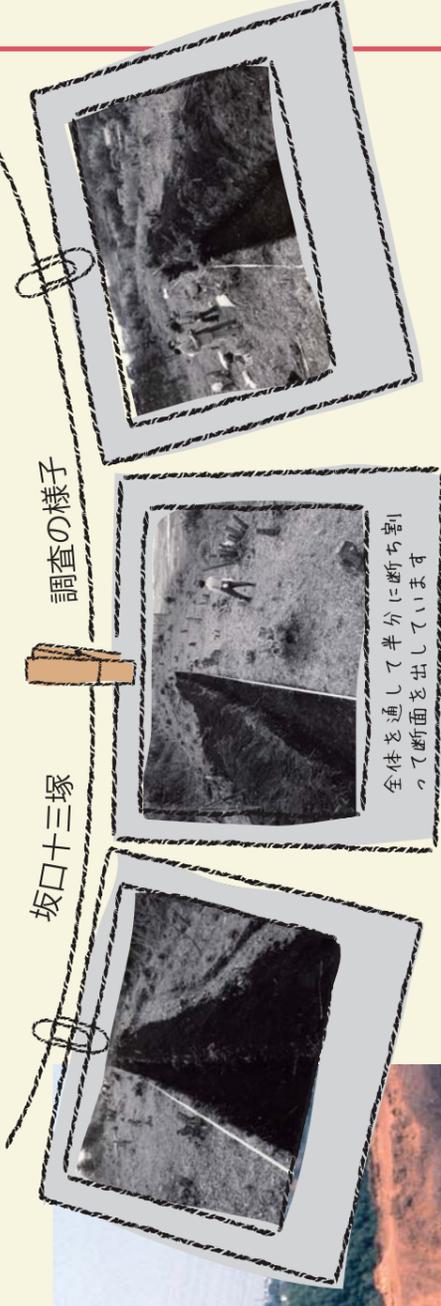
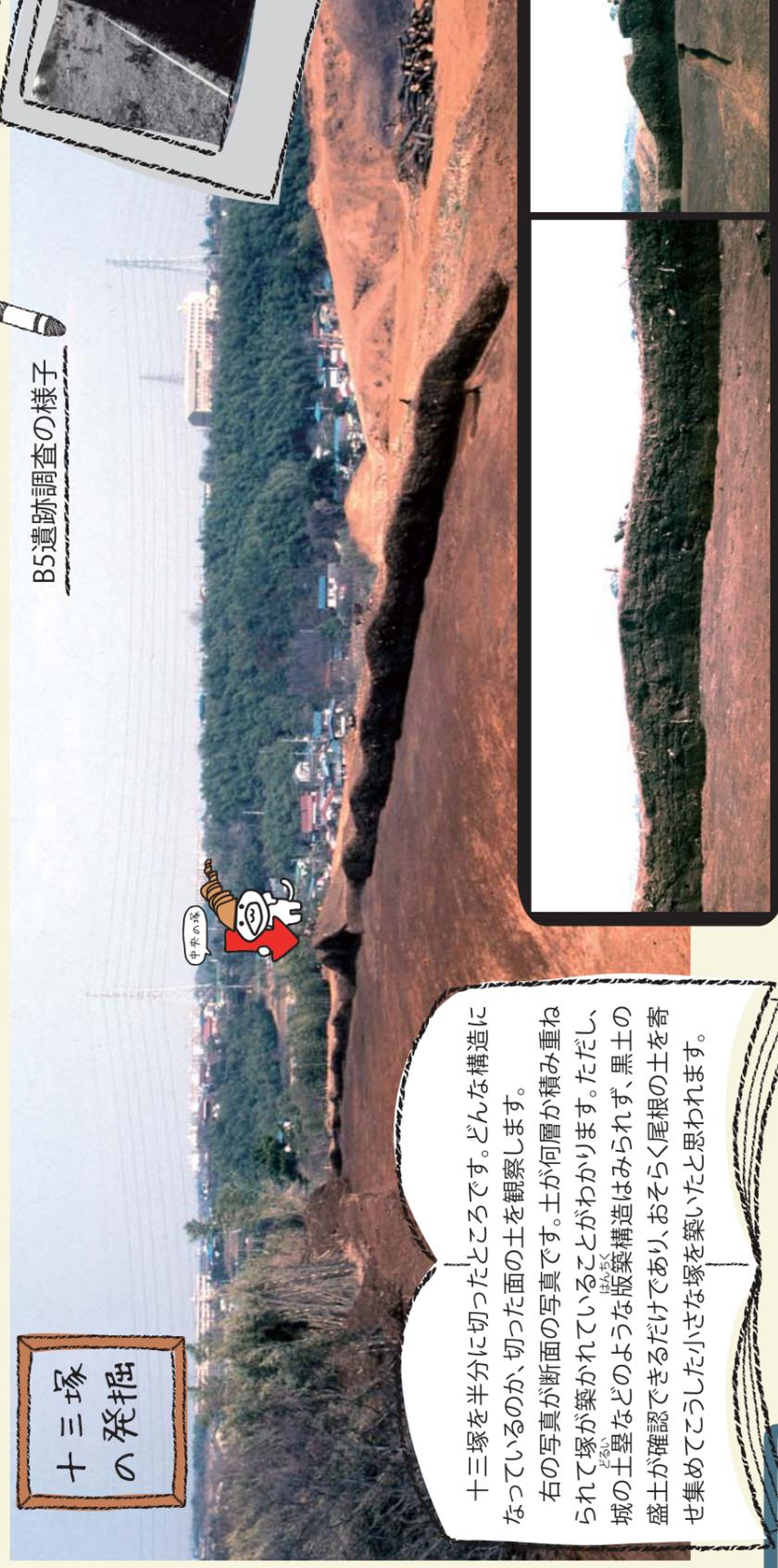
この図面にあるように中央の塚のみが大きい例は多く、坂口十三塚もB5遺跡も同様の形式をとります。大きい塚は大将軍や將軍塚などと呼ばれる場合もあります。横浜市の事例をみると中央の塚が5~7m、他は3m前後のものが多いようです。

坂口十三塚遺跡空撮

## 十三塚 の発掘

十三塚を半分に切ったところ。どんな構造になっているのか、切った面の土を観察します。  
右の写真が断面の写真です。土が何層が積み重ねられて塚が築かれていることがわかります。ただし、城の土塁などのような版築構造はみられず、黒土の盛土が確認できるだけであり、おそらく尾根の土を寄せ集めてこしらえた小さな塚を築いたと思われます。

## B5遺跡調査の様子



坂口十三塚  
調査の様子

全体を通して半分に断ち割って断面を出しています

中央の塚は十字に断ち割って確認しています。残存するすべての塚も通して大きいので断ち割って調べています。断ち割り、確認しています。



